

こぼん 令和5年度 放課後等デイサービス自己評価

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点等
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			R5.10より活動スペースが広くなりました。
	②	職員の配置数は適切である	○			
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○		R5.10よりバリアフリーとなりました。それに伴い肢体不自由児の受入れも可能となりました。
	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○			全職員が業務目標を設定し、月1回のミーティング内で振り返り等行い、支援につなげられるよう努めている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			全職員へアンケート結果を周知し、改善に繋がっています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			法人HPIにて公開しています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			○	外部評価は行っておりません。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			職員の意向を踏まえ、研修計画を立て、研修参加に努めています。またOJTの開催も毎月行っています。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			アセスメントを行い、記録やのミーティングを基に計画を反映させています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			アセスメントツールを使用するためにOJTを行っています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			ミーティング等で活動を話し合い、プログラムに繋がっています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			一定の固定はありますが、変化があるよう工夫したり新たなプログラムも取り入れています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			その時々に応じて、プログラムを設定しています。新たな活動も導入できるよう努めています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	○			個別活動と集団活動を見極め、計画を作成しています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の内容や役割分担について確認している	○			支援前に行っています。また役割分担を細分化し、効率よく支援できるよう努めています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			終了後にはできないため、記録にて振り返り共有しております。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			個人の主観で記録をしないよう、努めています。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点等
関係機関や保護者との連携	⑮	定期的にモニタリングを行い、放課後等 デイサービス計画の見直しの必要性を判断 している	○			年2回のモニタリングを行い、計画の見直しを 判断しています。
	⑯	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合 わせて支援を行っている	○			ガイドラインに沿い、支援を行っております。
	⑰	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最も ふさわしい者が参画している	○			児童発達支援管理責任者が参加しておりま す。
	⑱	学校との情報共有（年間計画・行事予定 等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、 連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時 の連絡）を適切に行っている	○			保護者を通じて行っております。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合 は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている				該当なし。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、 認定こども園、児童発達支援事業所等との 間で情報共有と相互理解に努めている	○			状況に応じて情報共有を行っております。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所 から障害福祉サービス事業所等へ移行する 場合、それまでの支援内容等の情報を提供 する等している	○			状況に応じて情報共有を行っております。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援 センター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けている	○			外部研修への参加を行いました。今後も継続 して受講していきます。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障 害のない子どもと活動する機会がある			○	ご要望があれば検討します。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に 参加している	○			部会員として参加しています。
保	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、 子どもの発達の状況や課題について共通理 解を持っている	○			個別面談、送迎時や電話等、またご希望があ れば随時面談を行い、共通理解ができるよう 努めております。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、 保護者に対してペアレント・トレーニング等の 支援を行っている		○		ペアレントトレーニングは行ってはいないが、 状況に応じて助言等を行っています。
	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等に関 して丁寧な説明を行っている	○			契約時、面談時に行っております。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談 に適切に応じ、必要な助言と支援を行ってい る	○			面談や電話等にて行っております。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を支 援している		○		ご要望があれば検討します。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点等
護 者 へ の 説 明 責 任 等	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			契約時に説明、入口に受付ポスターの掲示をし、適切に対応できる体制を整えております。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			毎月のプログラム予定表の配布、また年3回の通信発行を行っています。また支援システムにて活動の様子を発信しています。
	③⑤	個人情報に十分注意している	○			鍵付き書庫に保管しております。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			わかりやすい伝達方法を工夫したり、アプリ等を使用しています。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			○	必要に応じて検討していきます。
非 常 時 等 の 対 応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			マニュアル等は策定済みです。今後保護者へと周知する予定でいます。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			毎月各災害においての訓練を行っております。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			悉皆研修となっています。また虐待を防止するために、ミーティングにて話し合いの場を設けています。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			個別支援計画に記載し、面談にて説明を行っています。身体拘束にならないよう、カンファレンスの場も設けています。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			医師の指示書はありませんが、保護者との情報共有を行い、対応しています。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			毎月のミーティング等にて検討し、改善に努めています。